



# 阪神カウンセリング・ラボ ニュースレター

2021 9月号



## ウナギの話 (3)

ラジオ番組「武田鉄矢今朝の三枚おろし」で聞いた話をもとに、7月号から続く、ウナギの話



### ウナギが5000キロの正確な旅を可能とする理由

なぜウナギが、とてつもなく長い旅を繰り返し正確に行えるのか。私がひらめいたのは、エネルギーの中にある情報＝記憶です。

ウナギの謎について、人々は長い年月をかけて究明してきました。それでもなお、解けていない謎があります。大西洋ウナギの産卵地がどこなのか、ヨーロッパに向かうウナギとアメリカに向かうウナギが、親がたどった数千キロも離れたはるか彼方の一定の道をどうやって間違わずに移動できるのか、それらをどう記憶しているのか。ニホンウナギの産卵場所はマリアナ海溝とつき止められ、そこから日本へのルートは解明されたものの、ウナギが産卵地にどう帰っていくのかなど、調査・研究が続けられているそうです。

このことを知って私が思ったことは、ウナギがその経路を正確に記憶する何かが存在するという事です。ウナギが正確にその道をたどるために、外在的な条件は必要です。外在的な条件とは、潮の流れの特徴、海流の速さや方向、温度や海流特有の環境、生きていくためのエサの在りか、地球上にある目に見えない信号、星の位置など宇宙からの信号や電磁波など。これら、ウナギの記憶の手がかりになる条件は必要でしょう。問題は、それらの条件をキャッチするウナギそのものに存在する記憶はどこにあり、それはどこから来るかということです。

このことを考えていくヒントになったのは、zero point energy something great (ゼロポイントエネルギー・サムシング・グレイト) です。これは、ゼロポイントフィールドと略して使用されています。

人という肉体は、各器官で成り立っています。それらは、細胞が組み合わされたもので、細胞は分子から成り立ちます。その分子は、原子から成り立ちます。原子にある、原子核には、中性子、陽子があるというところまでは、高校生の物理で学びます。これよりも微細な存在を、素粒子と呼びます。さらに微細なものとして、ヒモがあると言われています。これはまだ仮説の段階ですが、理論的には証明されたという内容のBS放映を見たことがあります。物の成り立ちのその背後に、とてつもない存在があるということです。

10月号に また続くー

阪神カウンセリング・ラボ

<https://www.hanshin-cl.com/>

#### \*梅田相談室

〒530-0014

大阪市北区鶴野町4-11 朝日プラザ梅田9階910

Tel/Fax 06 - 6147 - 2533

E-mail [hanshin-c.l@star.ocn.ne.jp](mailto:hanshin-c.l@star.ocn.ne.jp)

#### \*明石相談室

〒673-0891

明石市大明石町1-7-4 白菊グランドビル512

Tel 078 - 917 - 6880

